

東大和市生涯学習・生涯スポーツ推進計画（素案）に対する  
パブリックコメントの結果について

東大和市における生涯学習・生涯スポーツに関する基本的な指針を示す、「東大和市生涯学習・生涯スポーツ推進計画」（素案）について、パブリックコメントを実施したところ、次のとおりの結果となりました。

1 提出された意見の数及び提出した市民等の数

東大和市生涯学習・生涯スポーツ推進計画（素案）	6件	6人
-------------------------	----	----

2 意見の提出期間

平成28年12月1日（木）から平成29年1月4日（水）まで

3 提出された意見の要約及び意見に対する市の考え方  
別紙のとおり

提出者	意見	意見の要約	市の考え方
1	1	<p>P66健康づくりの推進</p> <p>①健康づくりの意識啓発 事業内容「習慣定着型ウォーキング事業」の内容に追加をして欲しい。「～を目的にウォーキング、高齢者散歩道路を指定し適度にベンチ、トイレ、見守り110番施設を配置する事業を実施する」なお、散歩道路の指定については、市民の声を聞き決定する。</p>	<p>ご提案いただきました高齢者散歩道路などの具体的なご提案は、健康長寿社会を目指す観点から大切な視点であると考えます。現時点では具体的な取り組み内容が決定していないため計画に記述することは難しいと考えますが、これから事業の実施に向けて検討する際に意見を参考にして進めてまいりたいと思います。</p>
2	2	<p>生涯スポーツの推進目標ライフスタイル別取り組みで、ソフトの部分（部活動関係、スポーツ教室、スポーツ情報の提供等）が強調されているが、すでに実施されているものが多く、新味がないように思われる。目標を実現するにあたり、取り組みを更に充実・拡充していく必要から、これらの活動拠点となる新たなスポーツ施設（第2体育館、サッカー場、野球場、テニスコート）が必要である。スポーツ振興都市を宣言し、市議会を始め、広く市民の皆さんに周知して理解をいただき、推進方針を実現していくことが望まれる。</p> <p>そのためには、財源の確保が急務である。現状の市財政に余裕があるとは思わないが、スポーツ施設充実のための基金を設け、年度計画を立て、優先順位を付けて実施に向けてのロードマップを作成して欲しい。財政問題がネックでできないではなく、どのような方法があるのかを十分議論し、実現のための方策を立てて欲しい。市民の皆さんに夢を与えて欲しい。</p>	<p>ご提案いただきましたスポーツ都市宣言や、不足するスポーツ施設充実のための基金の設置につきましては、新たな提案と受け止めております。</p> <p>運動施設の不足につきましては、十分認識をしているところですが、東京街道団地の建替えによる創出用地の中に運動広場を設ける方向で東京都と調整を進めているところであります。</p> <p>その他、不足施設につきましては、4-4スポーツ施設の充実、①既存施設等の整備の中の「体育・スポーツ施設充実検討事業」においてロードマップの作成を含め検討してまいりたいと思います。</p>

提出者	意見	意見の要約	市の考え方
3	3	<p>市内の東部地区に「ひと・まち・情報」に出会える施設を設置して欲しい。図書館機能を始めとして、生涯学習支援、市民活動支援、青少年活動支援、地域農業支援等の機能を持つ「複合機能施設」の設置を希望する。市民や地域の人々が気軽に集まれる場所となり、出会い・ふれあいで質の高い場を提供し、市民活動、生涯学習、福祉、教育、ボランティア活動等文化的な豊かな人生を支援する事業とする。(参考施設：武蔵野プレイス)</p> <p>市内に第2体育館の建設を望む。スポーツ実施率(33年50%以上)を目指すためにも、広域広場の活用を図りながら、市内の東部地区に体育館の増設を希望する。</p>	<p>「ひと・まち・情報」に出会える施設については、生涯学習だけでなく、地域振興、地域福祉と一体となった整備が必要となるため、今後、総合計画等において検討していく課題ではないかと考えておりますが、文化・スポーツを通じてのふれあいの場の提供につきましては、本計画の大きな柱の一つと考えているところであります。</p> <p>また、第2体育館については4-4スポーツ施設の充実、①既存施設等の整備の中の「体育・スポーツ施設充実検討事業」において検討してまいりたいと思います。</p>
4	4	<p>素案を一読して全体的に良くまとめられたものとする。基本的考え方、現状の分析、課題の提示、そして将来あるべき施策など丁寧に記述されている。欲をいえば5年、10年先を見据えた事柄に光をあて、掘り下げて欲しかった。待ったなしに来る少子高齢化の時代、その変化にどのように対応していくべきなのか、喫緊の課題であろう。一括りに高齢者といっても元気な方、持病のある人、障がいのある方々など一様でない。元気で明るく満ち足りた日々を送って頂けるのか、この生涯学習・生涯スポーツ推進計画が大いなる指標となることを願うものである。最後に第3章1.の基本理念として掲げられた「豊かな人間性と文化をはぐくむまちづくり」は秀逸であり、賛成である。</p>	<p>第1章「1. 生涯学習・生涯スポーツの現代的意義」において触れているように、本計画は「体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章」「学習権宣言」の考え方に賛同し、社会の多様性を認識しつつ、誰もが等しく機会を得られるよう努めていくことを念頭においています。ご指摘にある5年、10年先を見据えた対応につきましては、本計画が計画期間の中間年(5年)に見直しを行う予定になっていることから、その際にさらに掘り下げる形で検討してまいりたいと思います。</p>

提出者	意見	意見の要約	市の考え方
5	5	<p>生涯学習をとおして、障害があってもなくても一人の市民として生活できるよう、自ら学び、考え、行動し、豊かであるおいのある日々を楽しく暮せる東大和市を目指したい。</p> <p>公民館利用、図書館利用、郷土博物館の利用等がある。</p> <p>地域スポーツクラブ＝「はびねすまいる体操」</p> <p>ニュースポーツとして①ボッチャ（最近、車椅子でも出来るスポーツであることから各所で大会など開催されている）②スポーツ吹き矢（肺筋力を必要な高齢者に勧めたいスポーツ）等がある。シルバーライフの充実が地域づくりの主軸である。</p> <p>子どもを安心して育てることのできる、青少年が自信と責任を持っていける、基本的人権が尊重されるすべての人々が共に生きていける東大和市に。</p> <p>高齢化に向け、独居高齢者を一人でも多く外出が出来るよう声かけをし、参加しやすい環境づくりが第一だと考えます。</p>	<p>ご提案いただきました社会教育施設の利用やニュースポーツを活用した子供から高齢者まで誰もがスポーツに親しめる環境づくりについては、第4章生涯学習・生涯スポーツ推進事業に記載されたすべての事業の中で総合的に進めてまいります。</p>
6	6	<p>既存施設の整備・改修事業等の改善及び市内小中学校の体育館も同様に行う。競技の出来る場所。競技を見る事が出来る体育館が必要。用具も小中学校の設備が必要。第2体育館が欲しい。</p>	<p>ご提案いただきました既存施設の整備・改修につきましては、今年度、東京都の補助金を活用し、市民体育館トイレのバリアフリー化工事を実施したところであり、来年度も上仲原公園野球場の整備や市民体育館冷房設置工事などを予定しています。</p> <p>その他の施設整備や第2体育館の設置については4-4スポーツ施設の充実、①既存施設等の整備の中の「体育・スポーツ施設充実検討事業」において検討してまいりたいと思います。</p>